学校番号	T0203

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・成長と老化にともなう心身・精神の健康について理解しよう。
・健康や安全に対する社会的な取り組みや個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。
・環境問題や環境整備から健康について考えよう。
・仕事における健康被害について理解し、予防策を考えよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題解決を目指して総合的に考え、それらを表している。	生涯を通じる健康、社会生活と健康について感心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生涯を通じる健康	ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶	a：各内容において、自身の考えを発言したり文章で表現したりできる。 応急手当や心肺蘇生法の正しい方法について、クラスメイトと協力し、実践できる知識を身につける。(応急手当の意義とその基本、心配蘇生法の原理と実践) b：各内容において、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 c：各内容において、意見交換や自身の考えを発表するなど自主的に取り組もうとしている。	ノート提出 定期考査	ノート提出 定期考査	授業に取り組む姿勢 自己評価
		結婚生活と健康 中高年期と健康 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活				
後期	健康を支える環境づくり	大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備				
		食品の安全性 食品衛生にかかわる活動				
		保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用				
		さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度